

TSUCHIDA HOSPITAL NEWS 輪

みんなの輪と和を

第34号 平成28年8月31日発行/発行元 医療法人社団 土田病院/編集 土田病院 広報委員会

お知らせ

平成28年4月より、2階の医療療養病棟の内20床を「地域包括ケア病床」へ転向いたしました。

地域包括ケア病床とは急性期治療終了後すぐに自宅や施設へ退院するには不安のある患者さんに対し、在宅復帰に向けて効率的かつ効果的に医療・看護・介護・リハビリテーションを行う事を目的とした病床です。入院期間は患者さんの状態により異なりますが、60日を限度とした病床です。外部からの入院相談もお受けしておりますのでお気軽にお問合せ・ご相談ください。

地域医療連携室(直通)：011-522-0833

地域医療連携室

相談受付時間：午前9時～午後5時まで(月～金)

専任の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)がおり、入院前および入院中における様々な調整や心配事などのご相談に応じております。お気軽にご来室ください。

地域連携

他の医療機関ならびに区役所、各関係施設などとの連携窓口となり、入院のご相談から様々な情報連絡、各種手続きなどをおこないます。

医療相談

経済的な問題から各種制度説明、介護保険のサービス紹介や福祉施設紹介など、お悩みになっている問題に対して、幅広くご相談をお受けいたします。また、お電話でもご相談も構いません。

外来診療時間	[平日]午前9時～12時・午後1時～6時						
	[土曜]午前9時～12時30分(整形外科は午前9時～12時です)						
	月	火	水	木	金	土	
外来診療	午前	院長	院長	山本	院長	院長	交代制 整形外科 専門外来
		北川	佐々木	豊田	佐々木	豊田	
	午後	山本	中村	消化器内科 専門外来	中村	大野	循環器内科 専門外来
		佐々木	大野	大野	山本	山本	
	中村	豊田	佐々木	北川	中村		
		整形外科 専門外来		整形外科 専門外来			

※診療時間午後2時～5時

日曜・祝日は
休診いたします。

撮影者：今村 正さま(職員家族)

当院理念

地域の安心を第一に考えた
病院づくりを目指しています。

1. 地域のみならず信頼され、地域社会に貢献できる医療機関を目指します。
2. 救急医療から慢性期医療に至るまで、質の良い専門医療を実践します。
3. 患者さんの立場に立った、優しい、快適な環境を提供します。

Voice

生き方について考えてみませんか？

「胃ろうは延命」という話を聞いたことがある方は大勢いらっしゃると思います。実際の現場でも胃ろう造設を勧めたときに「胃ろうはしたくない」と家族・本人が判断し経鼻栄養や中心静脈栄養を続けるケースは少なくありません。以前行った胃ろうに関するご家族へのアンケート調査では「胃ろうを造って良かった」「胃ろうを造ったことが良かったかどうか分からない」という回答がありました。

わからない理由に「本人が意思表示のできない状態であること」「本人は望んでいなかったが家族として生きていてほしかった」という理由がありました。自分自身や家族が自分のことについて「生きていくこと」の選択をせざるを得な

い場面になった時に皆さんはどうしますか？どうしてほしいですか？選択をする家族にとっては辛い決断となる時もあるでしょう。「自分はまだ大丈夫」「家族に任せているから」「先生に任せる」それは本当にあなた自身の望んでいた生き方であり、最期の時を迎えるのに望ましい姿なのかを想像してください。

「アドバンス・ケア・プランニング」という言葉をご存知でしょうか？「将来の意思決定能力の低下に備えて、患者さんやそのご家族とケア全体の目標や具体的な治療・療養について話し合うこと」です。もしもの時のためのお話合いです。何を望み誰に託すのかを家族や自分の近い人と話し合い、自分の意思を伝えておくのです。

先日私の看護学生時代の恩師が体調を崩し入院されていました。先生は私に「廊下」と「老化」をかけて「ろうかは長い」老いてからの人生は長いというお話をしてくれました。誰でも少しずつ「老い」や「予期せぬ病」がやってきます。高度な医療技術が進んでいる現代に、自分自身の「生き方」について書き話し合っておくことが必要なのではないかと思えます。そのサポートができるように、私達看護師は日々患者さんや家族を尊重し寄り添う看護を目指しています。



看護部 看護副部長
仲田 恵子



医療法人社団
土田病院
TSUCHIDA HOSPITAL
札幌市1次・2次救急指定病院
TEL:011-531-7013
〒064-0921 札幌市中央区南21条西9丁目2-11
E-mail / info@tsuchida.or.jp
URL / http://www.tsuchida.or.jp



■市電 / 「東屯田通」下車 徒歩1分
■定鉄バス / 「南21条西11丁目」下車 徒歩5分
■車 / JR「札幌駅」から約30分

診療科目

外科・内科・消化器外科・消化器内科・呼吸器内科・救急科・整形外科・肛門外科・内分泌外科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

病床数

一般病床 / 42床、医療療養病床 / 72床、地域包括ケア病床 / 20床

夏祭り

7月31日、土田病院夏祭りが行われました。

連日続く雨に当日の天気心配されましたが、スタッフの作ってくれた、てるてる坊主のおかげで天気も良くお祭り日和に恵まれました。今回の夏祭りは今までにない規模のもので、病院全体のスタッフが丸となり準備に取り組んできました。他職種のスタッフとコミュニケーションをとる場にもなり、今後のチームワークにも繋がっていく良い場になったと思います。

今年は「幌南小学校JBC(プラスバンド)」さん「新琴似天舞龍神(よさこいチーム)」さんに来ていただき、夏祭りを盛り上げていただきました。プラスバンドの子供たちは青空の下、元気いっぱい素晴らしい音色を響かせて、来場者を笑顔にしてくれました。よさこいは有名チームということもあり、心待ちにしている人が多数いたようです。間近で見た踊りは迫力満点で力強いパワーをもらえた気がします。いつもは病室にいる患者さんもスタッフやご家族と一緒にヨーヨーすくいを楽しんだり、綿あめを味わって夏を満喫していただけたように思いました。皆さんの楽しそうな顔を見られたことが、何よりの私たちへのご褒美になりました。今年は食べ物やゲームコーナー等に力を入れ、地域の皆様に大勢来場して頂きました。地域の皆様に接する事のできる良い機会にもなり貴重な一日になりました。<介護福祉士 宮本智津子>



経営管理部

経営管理部は大きく分けて、

医事課、地域医療連携室、診療情報管理室、総務経理部門の4つに分かれています。今回はこのうちの総務経理部門についてご紹介させていただきます。



経営管理部 / 総務経理部門

実は、総務経理部門は、病院の中で唯一直接患者さんに接することが殆どない部門となるためあまりイメージがつかめないかもしれません。

総務経理部門では大きく分けると「人や制度に関すること」「お金に関すること」「物に関すること」についての業務を行っています。

まずは「人や制度に関すること」ですが、職員の採用や給与の計算のほか、職員の健康診断等福利厚生に関する業務も行っています。法律等の改正に伴い、規程類を新設したり変更したりすることも行っています。また2年に一度診療報酬の改定がありますが、この際も厚生局への届け出の変更等が必要となりますが、これも重要な業務です。

次に「お金に関すること」です。これは文字通り、病院の会計や経理を行います。日々受け取る診療費や、毎月まとめて入ってくる保険料、医薬品や給与等の支払を正確に行い記帳等を行っています。

次は「物に関すること」です。病院を運営するには、小さな備品から医薬品、医療材料、医療器械、病院の建物等様々なものが需要ですが、これらの調達や管理、営繕を行っています。医療機器や診療材料などは直接診療に関係するものですので極力故障や不足の無いよう慎重に対応しています。

もちろんこの他にも、官公庁による監査の対応やホームページの更新などもあり、程度の差はありますが診療業務以外のあらゆる部分に関係してるともいえます。

これらの業務を通じ、職員一人一人が働き甲斐のある職場となるよう取り組むとともに、患者さんの立場に立った優しい対応と環境の提供により、より一層地域の皆様から信頼される様努力いたします。

4人のメンバーです!!

